

バイナリラッチアダプタ

CA-903N



CA-903Nは、プログラマブルゲインアンプCA-206L2および差動増幅器CA-406L2と組み合わせることにより、利得設定をバイナリコードで行えるばかりでなく、ラッチ機能を持たせることも可能にするアダプタです。

ラッチ制御入力端子を開放または+5Vにすると、利得設定バイナリコード入力がスルーとなり、負論理のレベル信号で利得設定可能となります。ラッチ機能を働かせるときはラッチ制御入力を0Vにします。0Vになるエッジで利得設定バイナリコード入力の情報がラッチされます。

CA-206L2、CA-406L2との接続は同一ピン番号の8本にて行い、電源も供給されます。

▼絶対定格

電源電圧 (+Vs)	+5.5V
制御電圧	+5.5V、-0.5V

▼入出力特性(真理値表)

利得	入 力				出 力					機能	
	\bar{G}	\bar{C}	\bar{B}	\bar{A}	$\bar{1}$	$\bar{2}$	$\bar{5}$	$\bar{10}$	$\bar{x1}$		$\bar{x10}$
1	H	H	H	H	L	H	H	H	L	H	—
2	H	H	H	L	H	L	H	H	L	H	—
5	H	H	L	H	H	H	L	H	L	H	—
10	H	H	L	L	H	H	H	L	L	H	—
20	H	L	H	H	H	L	H	H	H	L	—
50	H	L	H	L	H	H	L	H	H	L	—
100	H	L	L	H	H	H	H	L	H	L	—
100	H	L	L	L	H	H	H	L	H	L	—
	L	X	X	X	Gの立ち下がりにてデータはラッチされます					ラッチ	

レベル	TTL, CMOS負論理
入力処理	100kΩにて+5Vに内部でプルアップ
ラッチ機能	トリガ端子⑰を開放またはHiにすると、制御入力の変化がそのまま出力に現れ、Loにすると、その立ち下がりの時点の制御入力の情報がラッチされます。

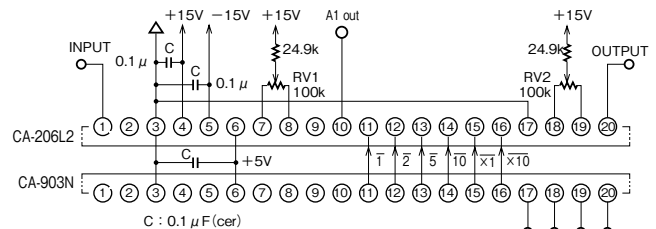
▼その他

電源電圧	+5V ±10%	
消費電流	150μA (typ) 1mA (max)	
温湿度範囲	動作	-20°C~70°C 10%~95%RH
	保存	-30°C~80°C 10%~80%RH
外形寸法	51.5×14×4.0mm, S20型	

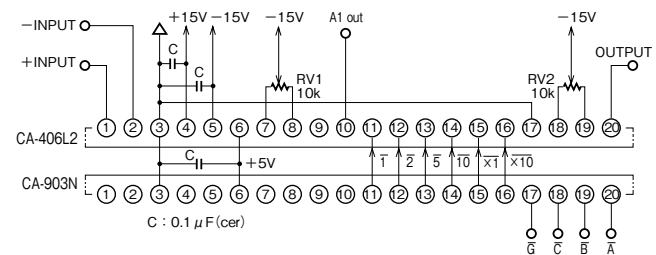
注) 特記なき場合は、23°C±5°C、Vs=±15V

基本接続図

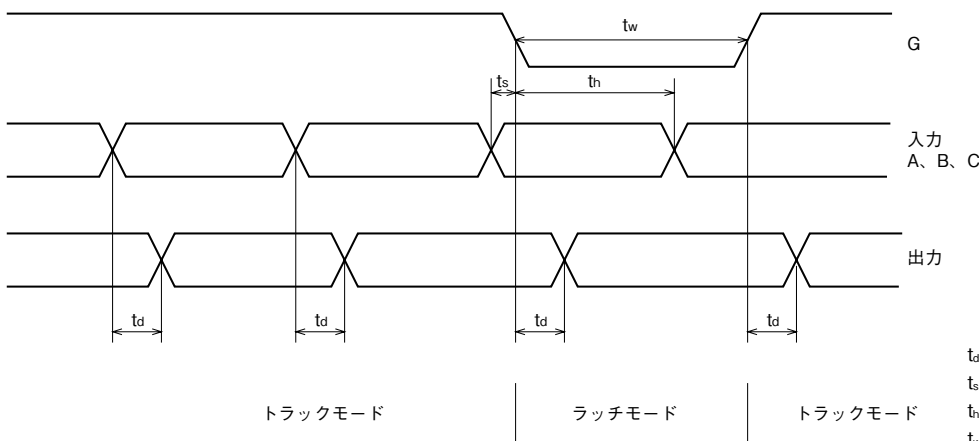
CA-206L2 との組合せ



CA-406L2 との組合せ



■制御信号タイミング図



- td: セットアップ遅延時間 850ns 以内
- ts: 最小セットアップ時間 50ns 以上
- th: 最小ホールド時間 50ns 以上
- tw: 最小パルス幅 150ns 以上